

令和2年度 女子バレーボール部の指導方針等と実績について

1 指導体制

顧問氏名		外部指導員氏名	資格等や経験
主顧問	山代 水緒	大久保 章	元教職員
副顧問	遠藤 浩司		
副顧問	中野 麻衣子		
副顧問	松坂 勇志		

2 年間目標

(1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像	集団活動を通して、田園調布高校の生徒及び社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を持つ生徒。人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を持つ生徒。部員同士で互いに切磋琢磨して高め合う生徒。
(2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標	春季リーグ戦・新人リーグ戦での2部大会以上進出、公立大会本選進出
(3) 地域貢献等の特色ある目標	中学生との合同練習等を行う

3 指導方針

(1) 技術や技能, 体力の向上	練習は平日4日(朝練を含む)・休日1日を基本とする。基礎的なトレーニングを行い、プレーの質の向上を図る。
(2) 公式戦や発表会への積極的な参加	参加できる大会には可能な限り参加する。
(3) 他校との合同練習、練習試合、校外活動の設定	月に数回、競技力を高めるために他チームと合同練習や練習試合を行う。
(4) 部加入率の維持、増加	満足度を高めるため、練習の質を向上させ、部員同士の連帯感を深める。部活動体験を実施するなど中学生にもアピールしていく。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導	科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料(DVD)を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
(2) 生徒間の暴力禁止	運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

(3)外部指導員の活用	顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
(4)事故防止・安全配慮	生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

5 主な年間計画

	月	内 容
1 学 期	4	仮入部 活動開始 練習試合
	5	
	6	
	7	
2 学 期	8	全日本選手権予選 新人リーグ戦兼新人選手権大会
	9	
	10	
	11	
3 学 期	12	国公立大会 春季休業強化練習
	1	
	2	

6 活動日・活動場所

曜日	月	火	水	木	金	土	日
活動場所	体育館		体育館	体育館	体育館	体育館 (どちらか1日)	

7 公式戦・大会等の実績

令和元年度新人大会で二部大会に進出、一勝を挙げた。